

但馬の経済指標

令和元年7月～令和元年9月

兵庫県但馬県民局

【但馬の経済概況】

<ポイント>

①但馬信用金庫の但馬管内景気動向調査によると、業況判断DIは、前期より2.1ポイント減少し、△15.3となった。

②有効求人倍率は、9月期1.82倍。前年同月と比べて0.24ポイント上昇した。

	項 目	今期(7月～9月)	対前期(増減)	対前年同期(増減)	
1	業況判断DI (全業種計)	但馬信用金庫	△ 15.3	△ 2.1	△ 1.1
2	雇用	9月	対前月(増減)	対前年同月(増減)	
		有効求人倍率	1.82	+ 0.13	+ 0.24
		9月	前月比(%)	前年同月比(%)	
		有効求人人数(人)	4,896	+ 9.04	+ 14.85
		有効求職者数(人)	2,686	+ 0.86	△ 0.7
		雇用保険受給者実人員(人)	579	△ 6.61	△ 17.05
3	金融	9月	前月比(%)	前年同月比(%)	
		普通貸付残高(百万円)	11,122	+ 1.04	△ 1.88
		手形交換枚数(枚)	6,268	+ 25.16	+ 28.76
		手形交換金額(百万円)	5,322	+ 6.55	+ 31.93
		今期(7月～9月)	対前期(増減)	対前年同期(増減)	
		不渡手形枚数(枚)	21	+ 19	+ 20
		不渡手形金額(千円)	26,801	+ 26,598	+ 26,471
		9月	前月比(%)	前年同月比(%)	
		信用保証承諾額(百万円)	1,348	+ 119.19	+ 26.57
信用保証債務残高(百万円)	35,856	△ 0.58	△ 4.74		
4	公共工事	9月	前月比(%)	前年同月比(%)	
		公共工事請負金額(百万円)	3,678	△ 5.64	△ 7.00
5	企業倒産	今期(7月～9月)	対前期(増減)	対前年同期(増減)	
		件数	6	0	+ 5
		負債総額(百万円)	415	+ 205	+ 332
6	地場産業	豊岡かばん	売上高、生産量、収益ともやや少ない。	売上高、生産量、収益ともやや少ない。	

1 業況判断

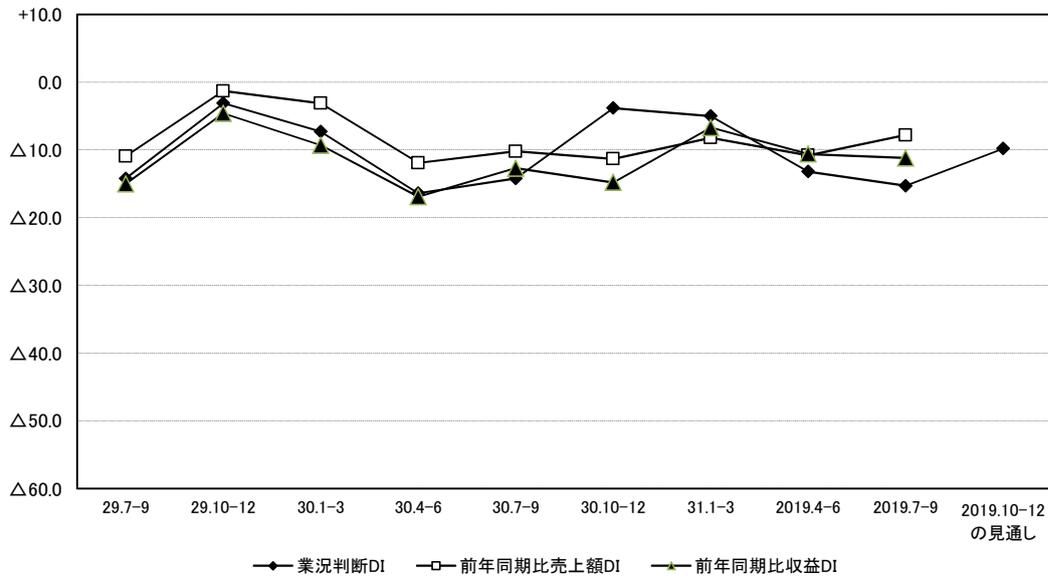
但馬信用金庫

今期の業況判断DIは、前期より2.1ポイント減少し、△15.3となった。

来期の見通しについては、業況判断DIが△9.8となる見通しである。

前年同期と比較した売上額DIは△7.8、同収益DIは△11.2となった。

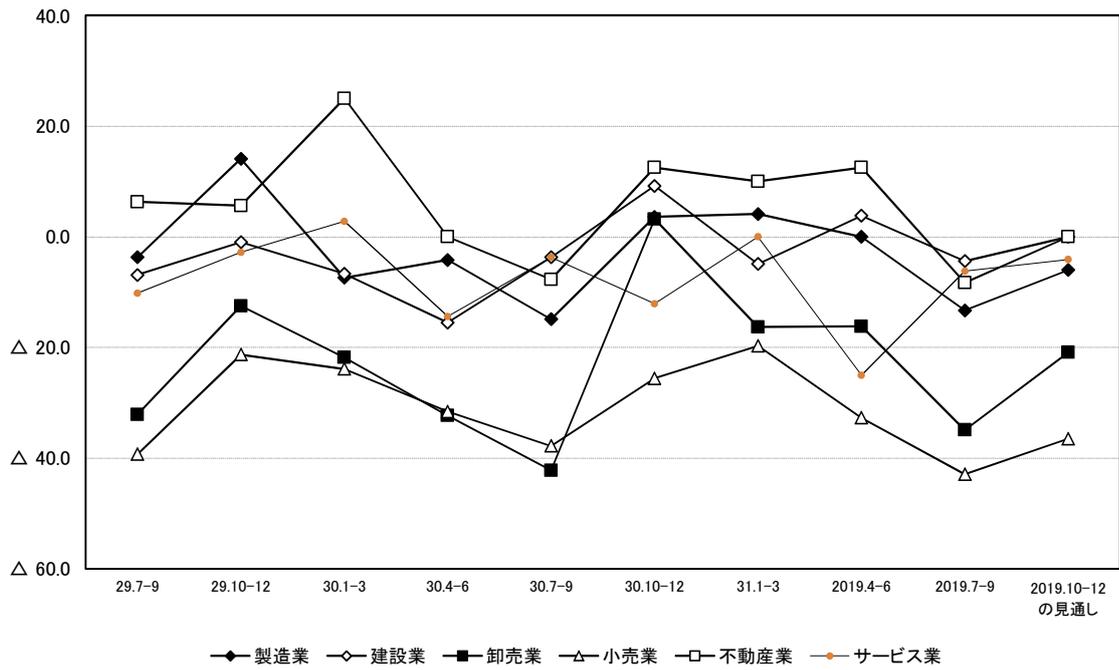
業況判断DIの推移



	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12 の見通し
業況判断DI	△14.2	△3.1	△7.3	△16.4	△14.2	△3.8	△5.0	△13.2	△15.3	△9.8
前年同期比売上額DI	△10.9	△1.3	△3.1	△11.9	△10.2	△11.3	△8.2	△10.8	△7.8	-
前年同期比収益DI	△15.0	△4.6	△9.3	△16.9	△12.7	△14.8	△6.7	△10.6	△11.2	-

出典:但馬信用金庫『但馬管内景気動向調査』

業種別業況判断DI

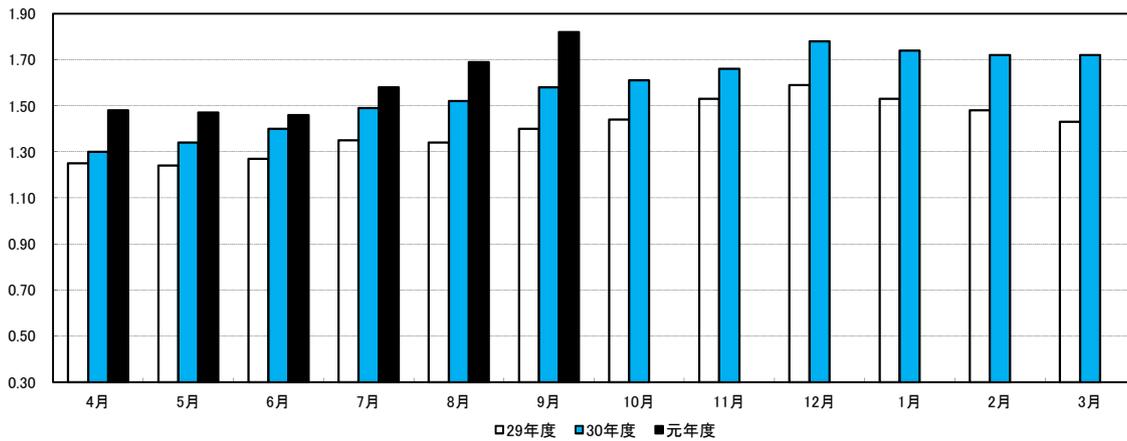


	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12 の見通し
製造業	△ 3.7	14.1	△ 7.4	△ 4.2	△ 14.9	3.6	4.1	0.0	△ 13.3	△ 6.0
建設業	△ 6.9	△ 1.0	△ 6.7	△ 15.5	△ 3.7	9.2	△ 4.9	3.8	△ 4.4	0.0
卸売業	△ 32.1	△ 12.5	△ 21.8	△ 32.3	△ 42.2	3.2	△ 16.3	△ 16.2	△ 34.9	△ 20.9
小売業	△ 39.3	△ 21.3	△ 23.9	△ 31.6	△ 37.8	△ 25.6	△ 19.7	△ 32.7	△ 42.9	△ 36.5
不動産業	6.3	5.6	25.0	0.0	△ 7.7	12.5	10.0	12.5	△ 8.3	0.0
サービス業	△ 10.2	△ 2.8	2.8	△ 14.4	△ 3.7	△ 12.1	0.0	△ 25.0	△ 6.2	△ 4.1

出典:但馬信用金庫『但馬管内景気動向調査』

2 雇用

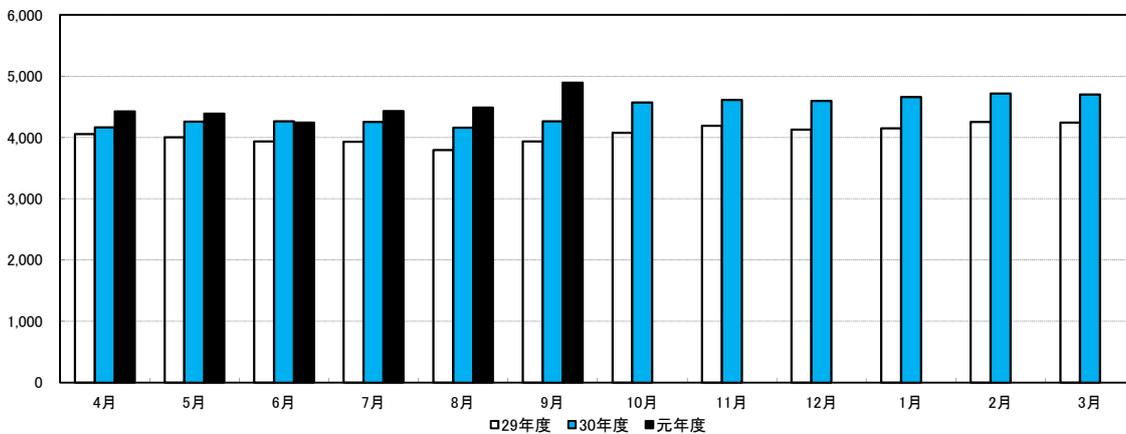
有効求人倍率



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	1.25	1.24	1.27	1.35	1.34	1.40	1.44	1.53	1.59	1.53	1.48	1.43	1.40
30年度	1.30	1.34	1.40	1.49	1.52	1.58	1.61	1.66	1.78	1.74	1.72	1.72	1.57
元年度	1.48	1.47	1.46	1.58	1.69	1.82							1.58
対前月(増減)	△0.24	△0.01	△0.01	+0.12	+0.11	+0.13							—
対前年(増減)	+0.18	+0.13	+0.06	+0.09	+0.17	+0.24							—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

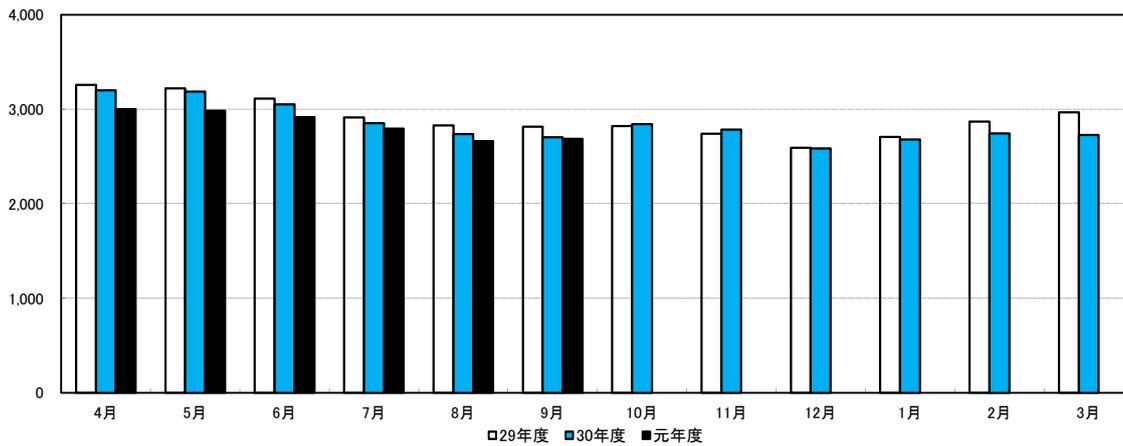
有効求人人数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	4,055	4,002	3,936	3,930	3,794	3,934	4,074	4,191	4,130	4,147	4,254	4,245	4,058
30年度	4,163	4,259	4,261	4,253	4,158	4,263	4,572	4,614	4,598	4,660	4,716	4,700	4,435
元年度	4,426	4,388	4,244	4,429	4,490	4,896							4,479
前月比(%)	△5.83	△0.86	△3.28	+4.36	+1.38	+9.04							—
前年同月比(%)	+6.32	+3.03	△0.40	+4.14	+7.98	+14.85							—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

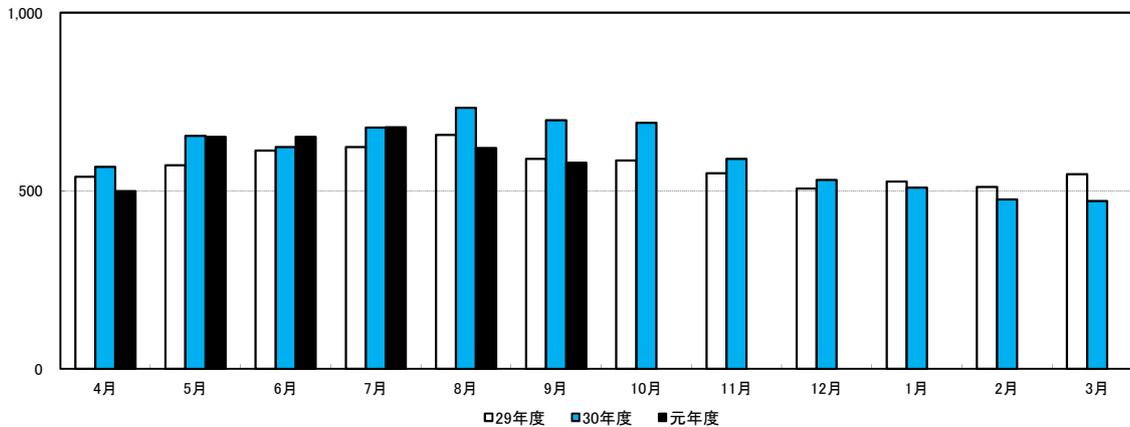
有効求職者数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	3,257	3,222	3,111	2,913	2,828	2,814	2,823	2,740	2,592	2,709	2,869	2,968	2,904
30年度	3,202	3,186	3,051	2,852	2,739	2,705	2,842	2,785	2,586	2,680	2,743	2,727	2,842
元年度	3,000	2,983	2,916	2,795	2,663	2,686							2,841
前月比 (%)	+10.01	△0.57	△2.25	△4.15	△4.72	+0.86							—
前年同月比 (%)	△6.31	△6.37	△4.42	△2.	△2.77	△0.7							—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

雇用保険受給者実人員(人)

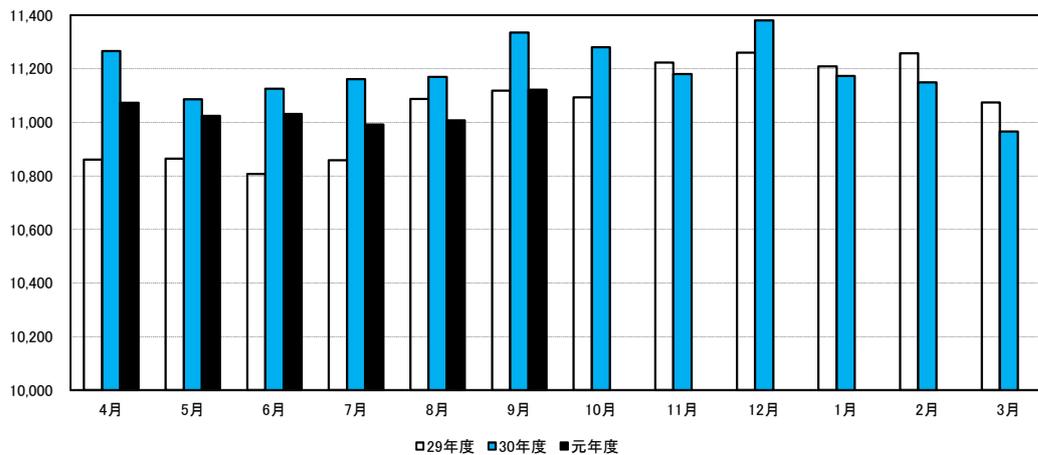


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	539	572	613	623	657	590	585	549	506	526	511	547	568
30年度	567	654	623	677	733	698	691	590	530	509	476	471	602
元年度	499	651	651	678	620	579							613
前月比 (%)	+5.94	+30.46	0.00	+4.15	△8.55	△6.61							—
前年同月比 (%)	△11.99	△0.46	+4.49	+0.15	△15.42	△17.05							—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

3 金融

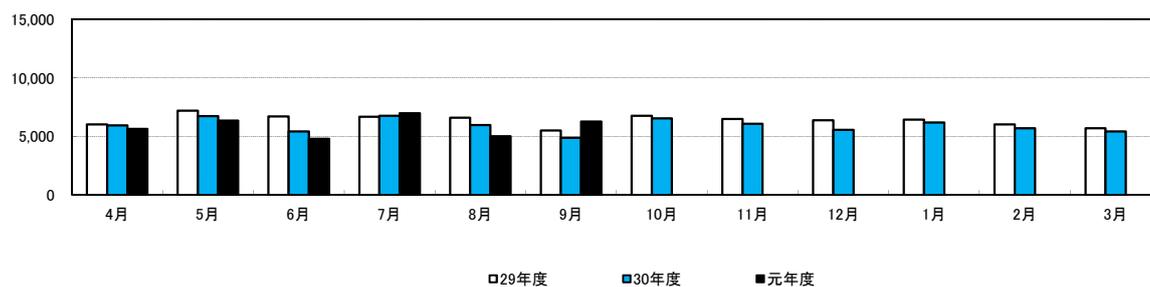
普通貸付残高(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	10,861	10,865	10,807	10,859	11,088	11,119	11,093	11,223	11,260	11,209	11,258	11,074	11,060
30年度	11,266	11,086	11,125	11,161	11,170	11,335	11,280	11,181	11,381	11,173	11,150	10,966	11,190
元年度	11,073	11,024	11,031	10,992	11,008	11,122							11,042
前月比 (%)	+0.98	△0.44	+0.06	△0.35	+0.15	+1.04							—
前年同月比 (%)	△1.71	△0.56	△0.84	△1.51	△1.45	△1.88							—

日本政策金融公庫豊岡支店 集計

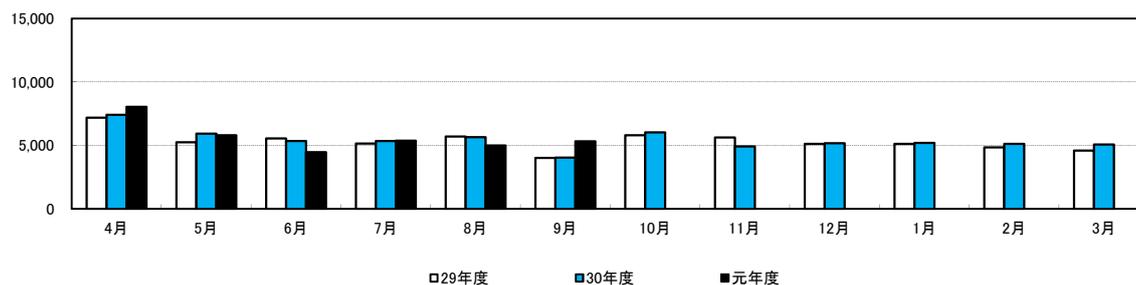
手形交換枚数(枚)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	6,018	7,178	6,699	6,674	6,591	5,484	6,746	6,490	6,362	6,429	6,009	5,688	6,364
30年度	5,943	6,715	5,405	6,763	5,957	4,868	6,534	6,058	5,540	6,190	5,689	5,419	5,923
元年度	5,627	6,343	4,793	6,957	5,008	6,268							5,833
前月比 (%)	+3.84	+12.72	△24.44	+45.15	△28.01	+25.16							—
前年同月比 (%)	△5.32	△5.54	△11.32	+2.87	△15.93	+28.76							—

株式会社三井住友銀行豊岡支店 集計

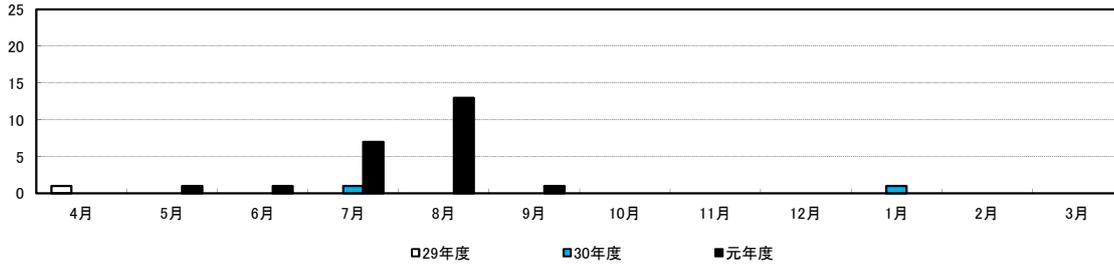
手形交換金額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	7,184	5,256	5,546	5,136	5,693	4,012	5,813	5,617	5,134	5,124	4,841	4,585	5,328
30年度	7,424	5,938	5,351	5,349	5,644	4,034	6,021	4,919	5,164	5,209	5,119	5,077	5,437
元年度	8,034	5,796	4,461	5,381	4,995	5,322							5,665
前月比 (%)	+58.24	△27.86	△23.03	+20.62	△7.17	+6.55							—
前年同月比 (%)	+8.22	△2.39	△16.63	+0.6	△11.5	+31.93							—

株式会社三井住友銀行豊岡支店 集計

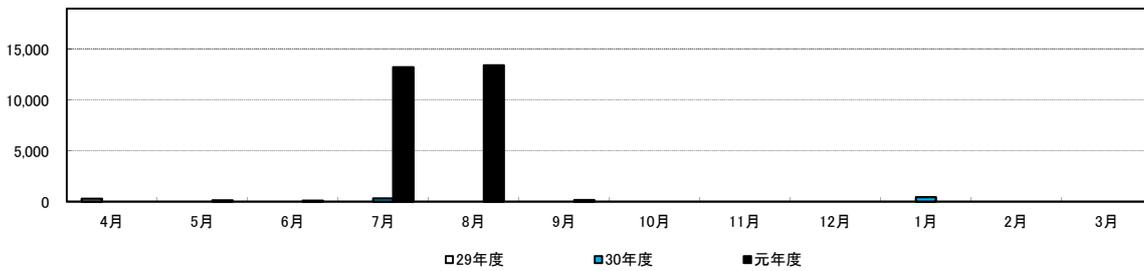
不渡手形枚数(枚)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29年度	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
30年度	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
元年度	0	1	1	7	13	1							23

株式会社三井住友銀行豊岡支店 集計

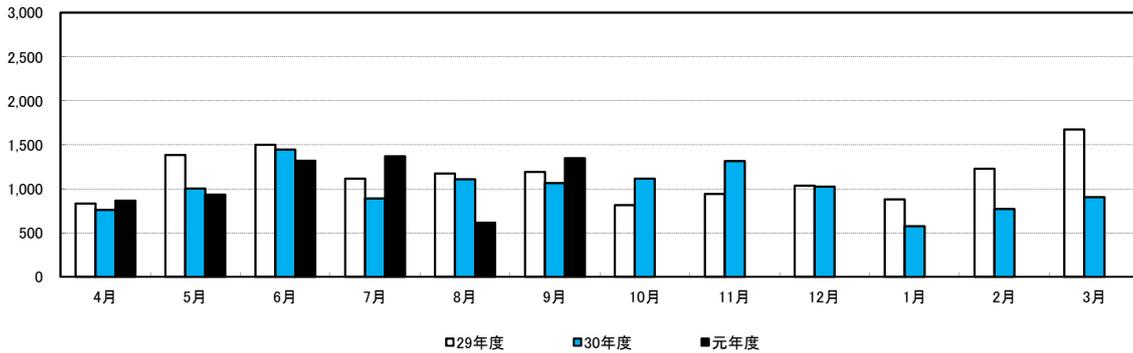
不渡交換金額(千円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29年度	286	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	286
30年度	0	0	0	330	0	0	0	0	0	430	0	0	760
元年度	0	120	83	13,223	13,426	152							27,004

株式会社三井住友銀行豊岡支店 集計

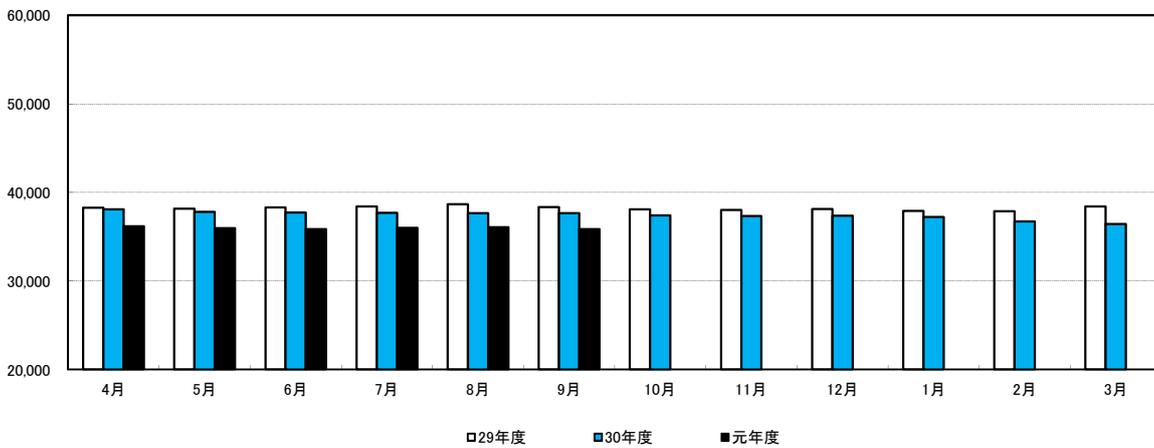
信用保証承諾額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	832	1,384	1,499	1,116	1,173	1,190	814	941	1,036	880	1,227	1,673	1,147
30年度	759	1,002	1,444	891	1,106	1,065	1,115	1,313	1,025	575	772	904	998
元年度	865	934	1,319	1,368	615	1,348							1,075
前月比 (%)	△4.31	+7.98	+41.22	+3.71	△55.04	+119.19							—
前年同月比 (%)	+13.97	△6.79	△8.66	+53.54	△44.39	+26.57							—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

信用保証債務残高(百万円)

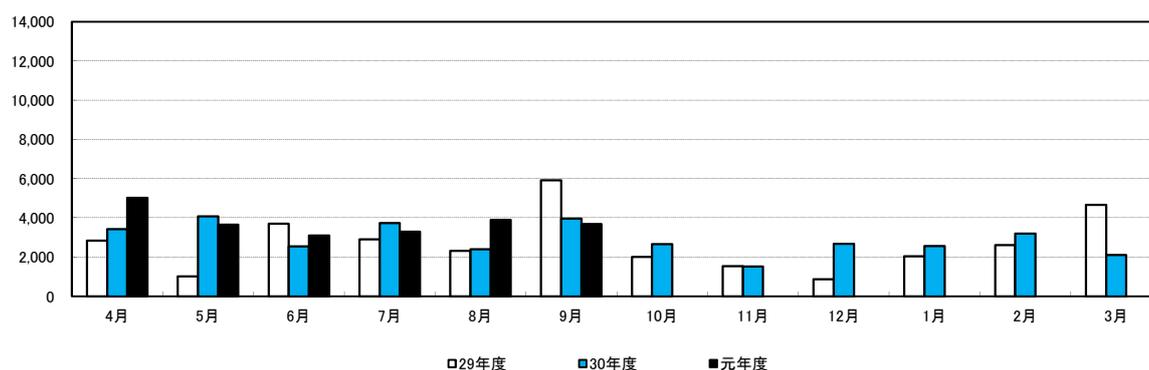


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	38,263	38,156	38,300	38,415	38,653	38,340	38,076	38,009	38,119	37,925	37,878	38,426	38,213
30年度	38,089	37,808	37,731	37,684	37,645	37,639	37,402	37,326	37,373	37,219	36,711	36,447	37,423
元年度	36,183	35,966	35,869	36,013	36,064	35,856							35,992
前月比 (%)	△0.72	△0.6	△0.27	+0.4	+0.14	△0.58							—
前年同月比 (%)	△5.	△4.87	△4.93	△4.43	△4.2	△4.74							—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

4 公共工事

公共工事請負金額(百万円)

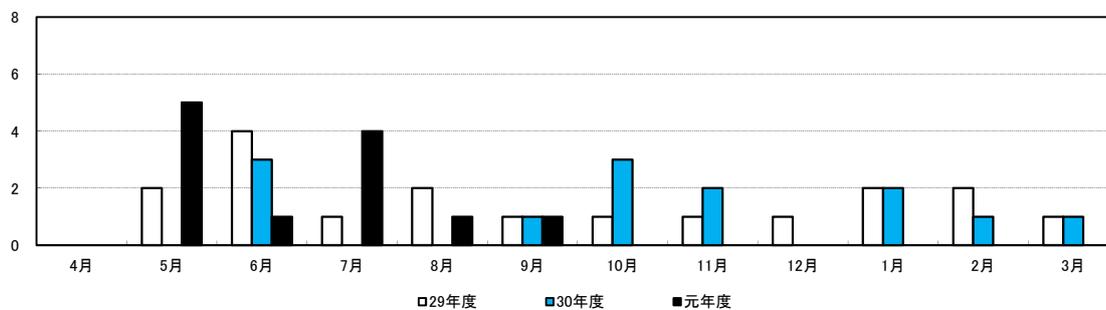


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29年度	2,828	1,009	3,698	2,905	2,307	5,908	2,004	1,539	863	2,038	2,613	4,659	2,698
30年度	3,422	4,080	2,548	3,729	2,397	3,955	2,657	1,516	2,679	2,551	3,189	2,107	2,903
元年度	5,010	3,657	3,104	3,296	3,898	3,678							3,774
前月比 (%)	137.78	△ 27.01	△ 15.12	6.19	18.26	△ 5.64							—
前年同月比 (%)	46.41	△ 10.37	21.82	△ 11.61	62.62	△ 7.00							—

西日本建設業保証株式会社兵庫支店 集計

5 企業倒産

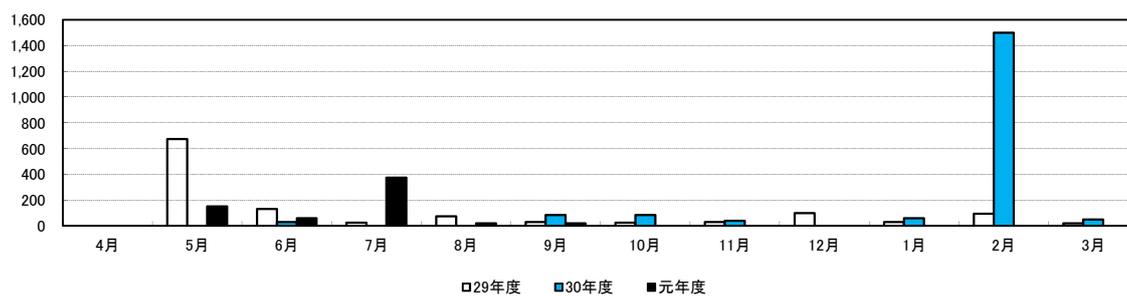
企業倒産件数(件)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29年度	0	2	4	1	2	1	1	1	1	2	2	1	18
30年度	0	0	3	0	0	1	3	2	0	2	1	1	13
元年度	0	5	1	4	1	1							

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

企業倒産負債総額(百万円)



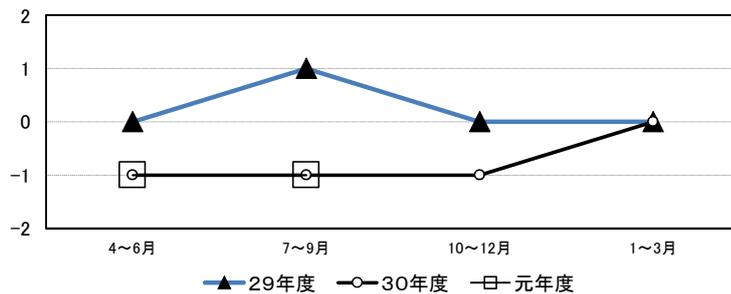
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29年度	0	675	130	25	73	30	25	30	100	30	95	20	1,233
30年度	0	0	30	0	0	83	84	40	0	60	1,500	50	1,847
元年度	0	150	60	375	20	20							

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

6 地場産業(豊岡かばん)

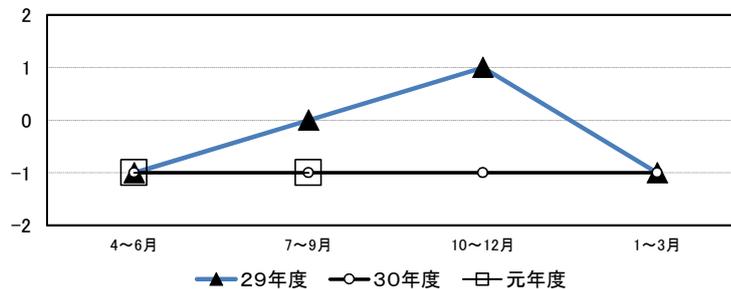
豊岡かばん 売上高 (前期比)

- 2:多い
- 1:やや多い
- 0:変わらない
- 1:やや少ない
- 2:少ない



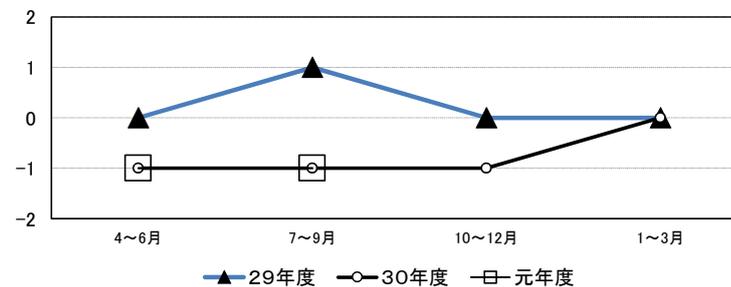
豊岡かばん 売上高 (前年同期比)

- 2:多い
- 1:やや多い
- 0:変わらない
- 1:やや少ない
- 2:少ない



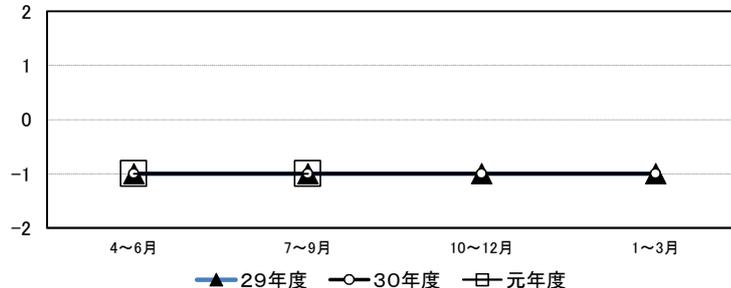
豊岡かばん 生産量 (前期比)

- 2:多い
- 1:やや多い
- 0:変わらない
- 1:やや少ない
- 2:少ない

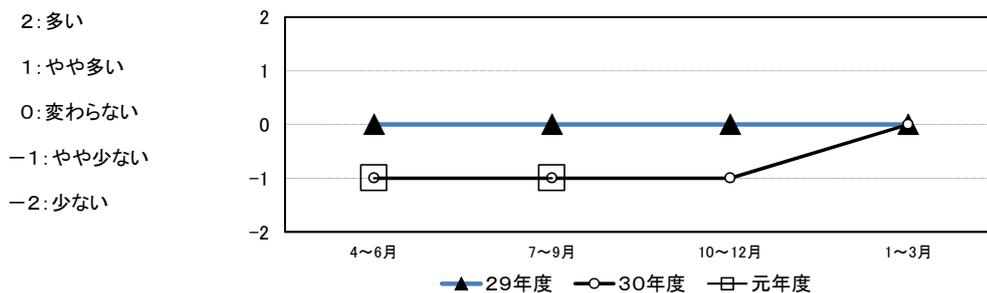


豊岡かばん 生産量 (前年同期比)

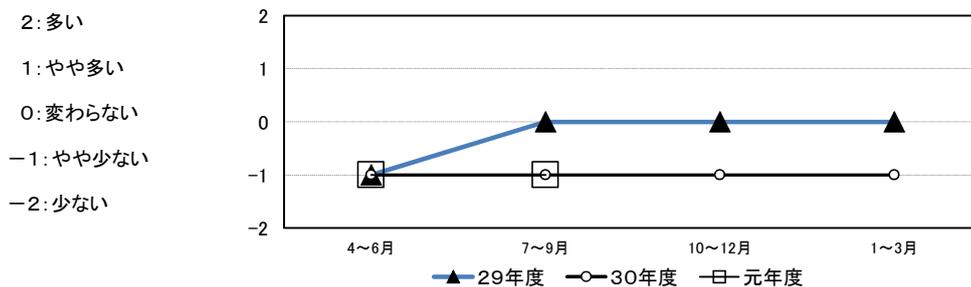
- 2:多い
- 1:やや多い
- 0:変わらない
- 1:やや少ない
- 2:少ない



豊岡かばん 収益（前期比）



豊岡かばん 収益（前年同期比）



前期(平成31年4~令和元年6月)と比べて売上高、生産量、収益ともやや少ない。

前年同期(平成30年7月~9月)との比較では、売上高、生産量、収益ともやや少ない。

靴業界全体は、第1四半期に引き続き、個人消費量の落ち込みにより、前年度の同時期に比べ減少傾向である。ネット販売は、比較的順調であったがやや横ばい状況である。
特に、工業組合が力を入れている地域ブランド「豊岡靴」では、百貨店や東急ハンズなどでの販売に伸び悩んでいる。11月東京展示会にむけて、レディース商品・イタリアレザー商品など、商品開発にむけて努力している。7月に老舗の靴卸企業が倒産し、景気状況は非常に悪い企業もある。連鎖倒産も予想されたが、何とか、連鎖倒産せずにすんだ。

豊岡靴協会 回答

7 主要業種の概況

製造業	県内金属製品等製造業会社によると、景況感はさほど良くないとのことである。昨年と比べ売上には変化はないが、消費税増税により売上の落ち込みが予想される。雇用人員については、現場の作業員が特に不足している。昨年度は2名採用予定であったが、人が集まらず厳しい状況である。人手不足に対応するため、省力化に向けた設備投資を行っていく。また、地域への企業広報として、地元学校への出張講座や、交流会の開催などにも力を入れていくとのことである。
運送業	県内旅客運送会社によると、景況感はさほど良くないとのことである。昨年と比べ売上に変化はないが、原油の高騰による費用増で年々利益は、厳しい状況である。雇用人員については、運転手、車両整備士が特に不足している。貸切バス需要に対応できず、他社への備車に対応している時もある。運転手は、資格習得の補助を行うことで確保に努めている。また、車両整備士は、外国人雇用を考えている。既存ルートの再検討をしながら新たな需要の掘り起こしを行っていくとのことである。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和元年7月)」より

製造業	米中貿易摩擦の影響による中国企業の生産減少のため、自社製品の需要が低下し、昨年と比べ大きく売上及び利益が落ちている。また、競合メーカーとの価格競争もあり、景況感は悪い。雇用人員については、今は数名高卒を採用できており、適正人員を維持しているが、年々高卒採用数が減っていることを考えると、中途人材の採用も視野に入れていく必要がある。
金融業	管内取引先企業の業績は、業種によっては少し下がっているが、昨年と比べ大きな変化はなく、景況感はさほど良くない。依然として、人手不足に対応するための省力化への設備投資への融資要望が多い。雇用人員については、現状適正人員であるが、金融業界は、今や人気業界ではなくなりつつある。インターシップを実施するなど地道な努力を続けて採用活動に力を入れていく。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和元年8月)」より

印刷・同関連業	今年に入り、紙の原材料であるパルプや原油の高騰及び中国による古紙の大量購入で、原材料(紙)価格が上昇し、景況感は悪い。小ロット単位の受注は、インターネットを通じて個人のデザイナーに流れており、非常に厳しい状況である。雇用人員については、現在適正であるが、社員の高齢化が進み、若手の人材との入れ替えが課題である。今後も採用活動には力を入れていくとのことである。
金属製品製造業	取引先の大型投資で一時的な需要の減少が続いていた。今年度取引先の設備投資が完了し、今後の受注が増加するため、景況感は良い。受注の増加に合わせて設備投資も積極的に行っていく。雇用人員については、不足している。とくに製造部門が不足しており、外国人労働者の活用を積極的に行っていくとのことである。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和元年9月)」より